

K 危険予知トレーニングで事故ゼロへ！
**雨天時、
停車車両の陰からの横断者**

Y 事故を未然に防ぐために、予測される危険や
危険を避けるための運転について考えてみましょう。



Q

どのような危険があり、どういった運転をする必要がありますか？



**交通
状況**

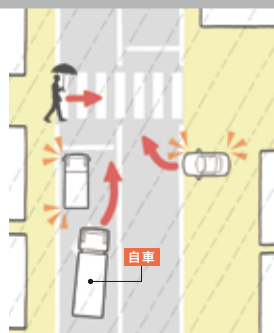
- 強い雨が降る中、集荷のため片側1車線の道路を走行しています。
- 横断歩道近くに差しかかりました。横断歩道の手前には左に方向指示器をつけたトラックが停車しています。
- 右側の路外施設から乗用車が道路に出ようとしています。

A

このような危険が！

- ✓ 停車車両※の死角により横断歩行者の発見が難しく、衝突につながる。
- ✓ フロントガラスの左端は、ワイパーで水滴を拭き取れず見えづらくなっている箇所がある。
- ✓ 右側の路外施設から出ようとする車に対し、「自転車の前に来るかもしれない」と注意がそれると、横断歩行者の発見が遅れる。
- ✓ 傘をさしている横断歩行者は視線が下向きの場合が多く、加えて雨音により周囲の危険に気づきにくい。

※道路交通法では、横断歩道や自転車横断帯の端から前後5m以内は駐停車禁止になっています。



このような運転を！

- ✓ 信号のない横断歩道直前の停車車両の側方を通過するときには、その車の前方に出る前に一時停止すること。
- ✓ 雨が降ると視界が悪くなるため、速度を落とし、しっかりと周囲を確認できる時間と心の余裕を持つ。また歩行者などへの泥はねにも注意すること。
- ✓ 横断歩道に接近する時は、そこを渡る歩行者を予測。信号機のない横断歩道には、手前にひし形のマークが路面に標示されている場合もある。